

2019年9月13日（金）  
愛知県政策企画局  
国際課国際戦略グループ  
担当 柴田、齋藤  
内線 2448、2256  
ダイヤル 052-954-6130  
愛知県経済産業局産業部  
産業立地通商課国際業務企画グループ  
担当 社本、原  
内線 3405、3404  
ダイヤル 052-954-6356  
愛知県建設局航空対策課  
利用促進グループ  
担当 樋口、飯田  
内線 2281、2283  
ダイヤル 052-954-6133

## 知事の東南アジア渡航中の行事結果について

9月12日、知事はベトナムにおいて、ベトジェットエア及びベトナム航空本社を訪問し、エアポートセールスを実施しました。

その後、フエ副首相、ロン司法大臣、チュン計画投資副大臣と面談し、本県とベトナムとの連携強化に向けて意見交換しました。夜、愛知県とベトナムとの経済交流会を開催し、ベトナム政府、現地企業・団体及び愛知県からの進出企業など、100名が出席しました。

### 1 ベトジェットエアへのエアポートセールス（担当：航空対策課）

#### (1) 日時

9月12日（木）午前10時30分から正午まで

（日本時間9月12日（木）午後0時30分から午後2時まで）

#### (2) 場所

ベトジェットエア ハノイオフィス（ハノイ）

#### (3) 面談者

グエン・タン・フン副会長 他

#### (4) 愛知県側出席者

大村知事、名古屋商工会議所 内田常務理事、

（一社）中部経済連合会 栗原常務理事、中部国際空港㈱ 犬塚社長 他

#### (5) 内容

大村知事、経済団体及び中部国際空港会社から、ベトナムから中部地域への入国者や在留ベトナム人が大幅に増加していること、自動車産業やロボット・工作機械産業などの産業集積が日本一である当地域のポテンシャルなどを説明した。加えて、中部国際空港では、9月20日（金）に第2ターミナルがオープンし、運航コストの低廉化が可能となることを説明し、セントレアとベトナムを結ぶ定期路線の開設を要請した。

これに対し、グエン・タン・フン副会長からは、「来年6月にホーチミン線、同7月にハノイ線、同11月にダナン線を、それぞれデイリーで就航することを考えている。ぜひ、第2ターミナルを利用させて頂きたい。」との前向きな回答があった。

また、「その際には、中部国際空港の着陸料割引などの支援に加えて、人材育成面での支援もお願いしたい。」との要請があり、加えて、「ニャチャン空港、

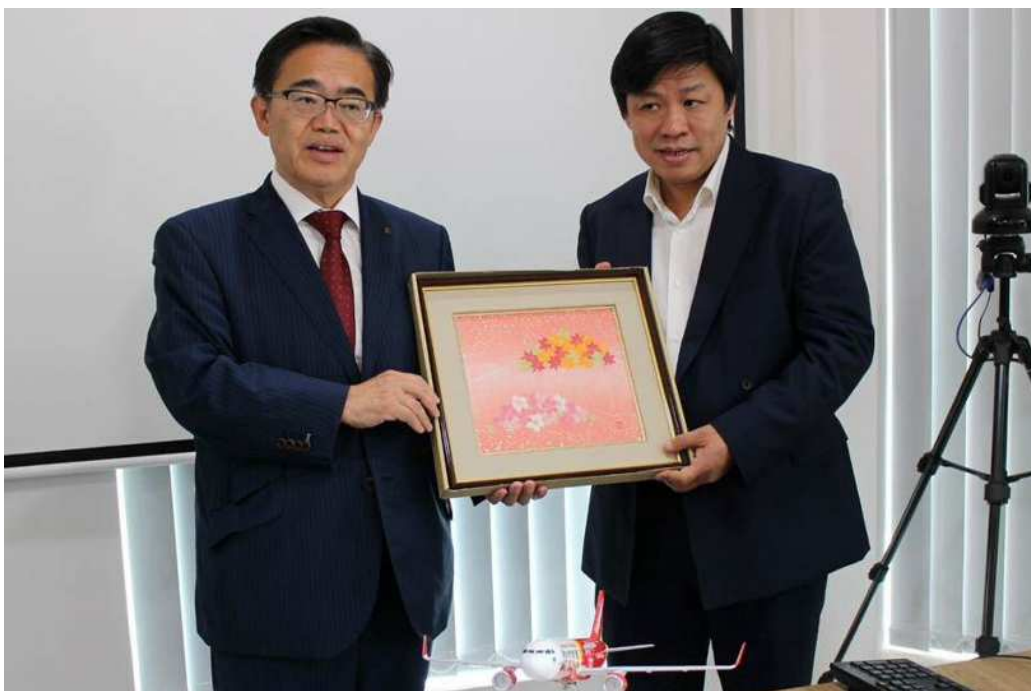
ハイフォン空港への路線拡張についても検討しており、今後、貴県を訪れ、詳細について協議したい。」との発言があった。

更に、副会長からは、自らが会長を兼務する親会社のソビコホールディングスについて、傘下に銀行や不動産会社などを擁するベトナムのリーディングカンパニーであることが紹介され、日本への投資など経済交流について意見交換を行った。

#### ベトジェットエアとの面談の様子



#### グエン・タン・フン副会長への記念品「小原和紙の工芸品」の贈呈



## 面談参加者による記念撮影



## 2 ベトナム航空へのエアポートセールス（担当：航空対策課）

### (1) 日時

9月12日（木）午後1時30分から午後2時20分まで

（日本時間9月12日（木）午後3時30分から午後4時20分まで）

### (2) 場所

ベトナム航空本社（ハノイ）

### (3) 面談者

レー・ホン・ハ上級副社長 他

### (4) 愛知県側出席者

大村知事、名古屋商工会議所 内田常務理事、

（一社）中部経済連合会 栗原常務理事、中部国際空港㈱ 犬塚社長 他

### (5) 内容

大村知事、経済団体及び中部国際空港会社から、ハノイ線及びホーチミン線の継続的な運航、及び2016年の前回訪問後にホーチミン線のデイリー化及びハノイ線の機材大型化が実施されたことに対し、お礼を申し上げた。また、当地域とベトナムの交流が今後も進み、更なる往来が見込まれることから、ホーチミン線の機材大型化及びベトナム中部の都市ダナンへの路線新設を要請した。

これに対し、レー・ホン・ハ上級副社長からは、「日越関係は友好45周年を迎え、良好であり日本路線を重視している。機材の大型化などのサービスの向上に取り組んでおり、2020年に中部－ホーチミン線の機材大型化を実施していきたい。中部－ダナン線の新設も現在検討している。」との回答があった。

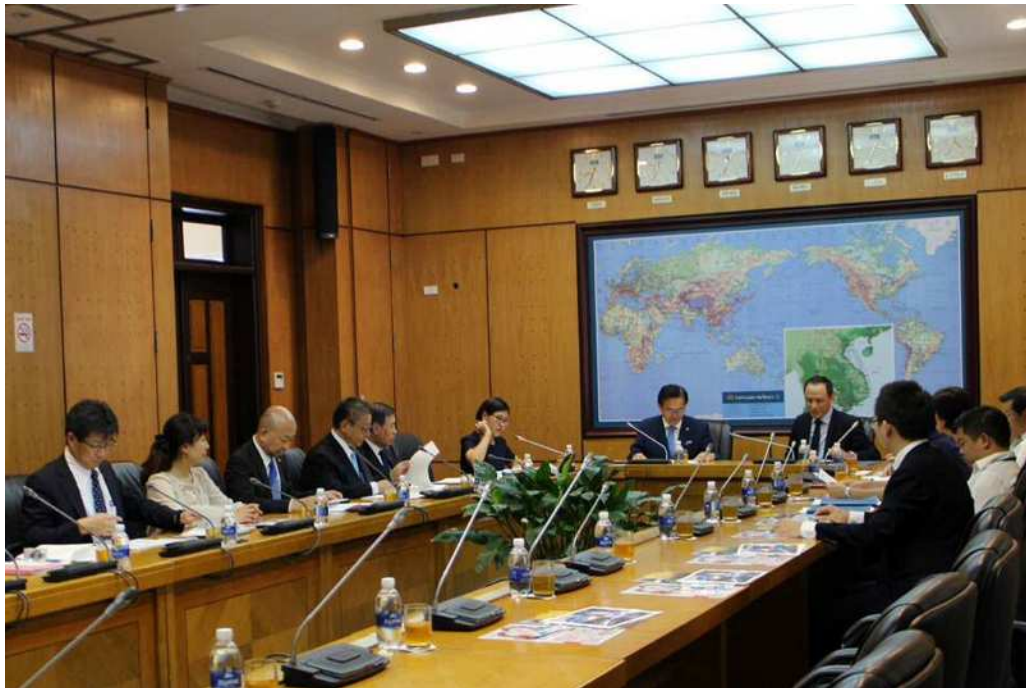
さらに、「当社路線の利用促進については、愛知県、経済界、中部国際空港株式会社の協力を感謝している。中部国際空港とダナン国際空港の友好空港提携についても感謝する。」との発言があった。

また、上級副社長からは、ベトナム人の日本観光のビザ要件の緩和を日本政府



に働き掛けてほしいとの要請があり、これに対し、必ず実施するとの回答を行った。

#### ベトナム航空との面談の様子



#### レー・ホン・ハ上級副社長への記念品「小原和紙の工芸品」の贈呈



## 面談参加者全員による記念撮影



### 3 チュン計画投資副大臣との面談（担当課：産業立地通商課）

(1) 日時

9月12日（木）午後3時から午後3時40分まで  
（日本時間9月12日（木）午後5時から午後5時40分まで）

(2) 場所

計画投資省（ハノイ）

(3) 面談者

グエン・ドゥック・チュン計画投資副大臣

(4) 愛知県側出席者

大村知事、名古屋商工会議所 内田常務理事、（一社）中部経済連合会 栗原常務理事、中部国際空港㈱ 犬塚社長、広瀬ホーチミン観光大使、在ベトナム日本国大使館 岡部経済公使

(5) 内容

大村知事から副大臣に対して、2008年にベトナム計画投資省と締結した「経済交流に関する覚書」を契機として、翌年に設置した「愛知県ベトナムサポートデスク」では、のべ500件の相談対応や意見交換会を40回実施したことを報告し、今後とも法制度を含む様々な情報提供や、さらなる投資拡大に向けた積極的な協力を要請した。

さらに、愛知県が既に開始している有料道路の民営化について、交通量の増加やサービスエリアでの民間施設の機能アップなどの成果を得たことを報告し、ベトナムホーチミン市で、こうした民営化（PPP方式）に関心が高まっており、今後愛知県としてもサポートしていく旨の考えを示した。

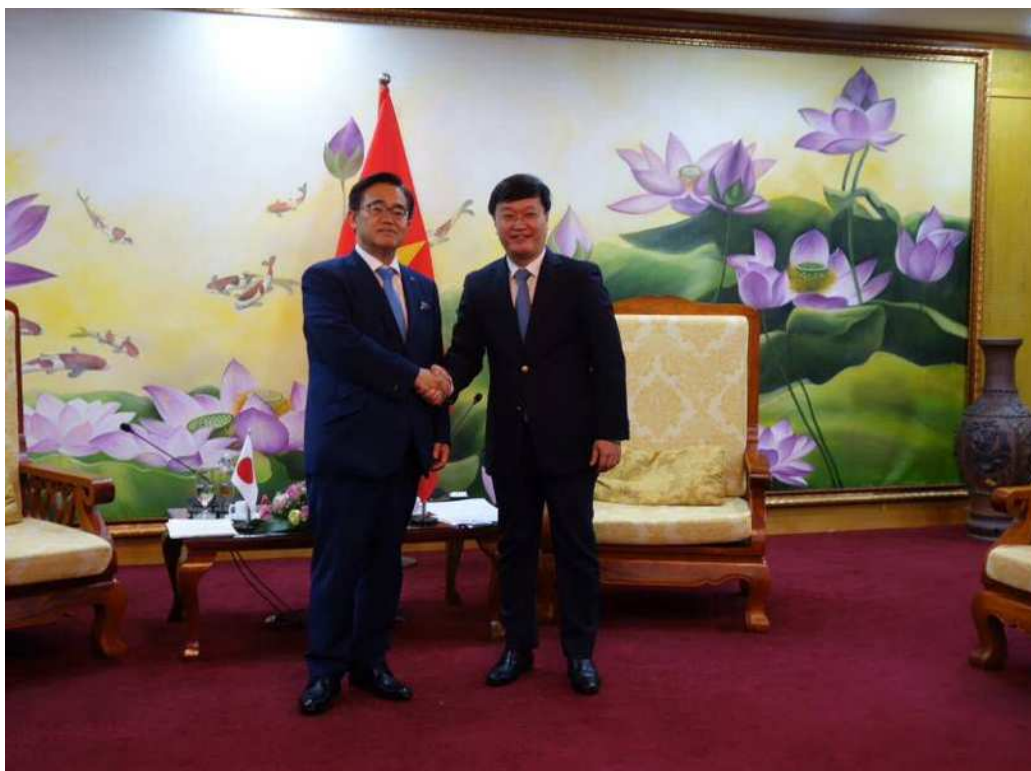
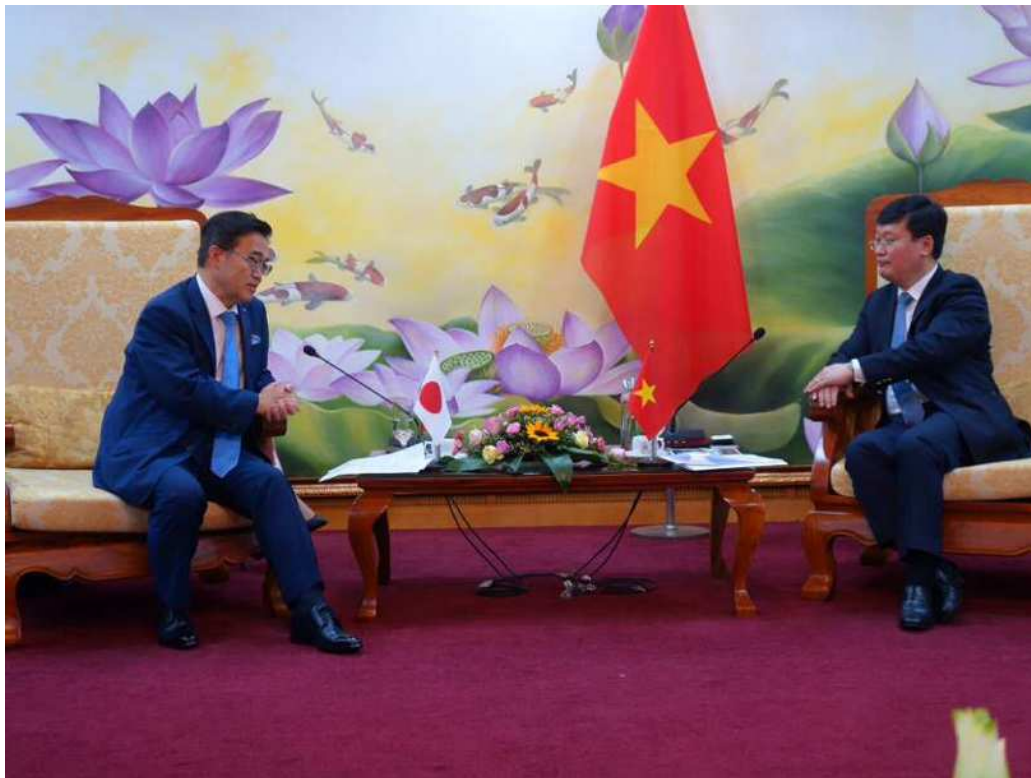
チュン副大臣は、サポートデスク開設後の愛知県からの企業進出増加について、感謝を述べるとともに、不透明な世界経済に加えて、保護主義が蔓延している中で、政治が安定し、生産人口が増加するベトナムは、今後も投資対象として魅力



的なので、愛知県からの積極的な投資を期待する旨の発言があった。

また、PPP 関連分野を計画投資省も所管しており、愛知県の取組をバックアップしていきたいとのコメントがあった。

#### 大村知事とチュン計画投資副大臣との面談の風景



#### 4 フェ副首相との面談（担当課：国際課）

(1) 日時

9月12日（木）午後4時から午後4時45分まで

（日本時間9月12日（木）午後6時から午後6時45分まで）

(2) 場所

首相府（ハノイ）

(3) 面談者

ヴォン・ディン・フェ副首相

(4) 愛知県側出席者

大村知事、植村政策顧問、

名古屋商工会議所 内田常務理事、（一社）中部経済連合会 栗原常務理事、

中部国際空港(株) 犬塚社長、在ベトナム日本国大使館 梅田大使

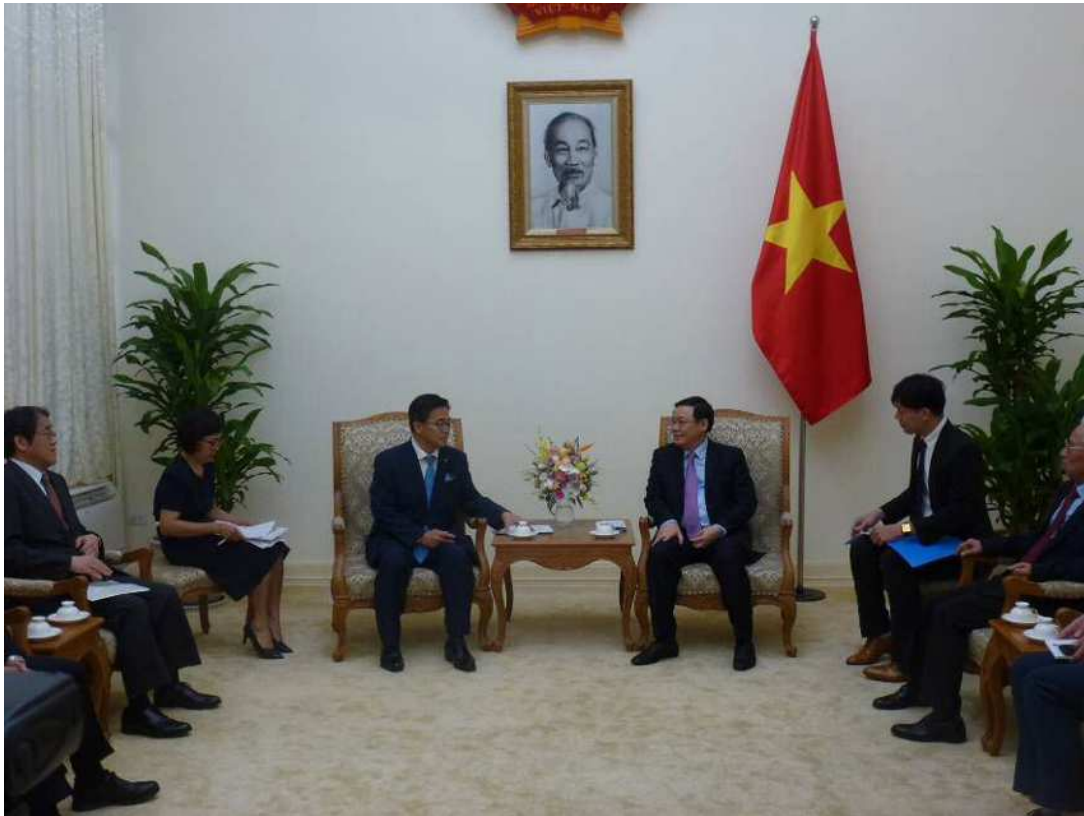
(5) 内容

知事は、首相府を訪問し、フェ副首相と面談した。愛知県からベトナムには約180社が進出する中、更に多くの企業が進出を検討しており、経済分野での結びつきが非常に強いこと、また、愛知県には全国で2番目に多い31,000人以上のベトナムの方々が生住しており、名古屋で本年4月に開催されたベトナムフェスティバルは約10万人が集まり全国屈指のイベントになったことなどを説明し、ベトナム政府に対して、経済発展に向けた環境整備や人の交流を促す航空路線の拡大を要請するとともに、愛知県が4年前から取り組み、交通量10%増などの成果を上げている道路コンセッション方式（PPP方式）による高速道路整備のノウハウを、ベトナム、ホーチミンでも是非活かしてほしいと提言した。

これを受けて副首相は、「愛知は日本をリードする産業県であり、多くの経済協力が実現できることを期待する。今般、投資や研究開発を促進する法律を制定できたことから、次は、投資法の改正に取り組み、外国からの投資を更に促していきたい。航空路線については、ベトナム航空での大型機材導入や、ベトジェットなど新規参入した航空会社の路線拡大に加え、操縦士や客室乗務員の養成にも努めており、日本への路線は拡大させていく。また、民間活力の導入による高速道路整備については、現在進めている法案化を早期に実現し、ホーチミン市の空港周辺の交通混雑解消のためのインフラ整備等を日本企業の賛同も得て取り組んでいきたい。」と応えた。

知事と副首相は、両国の友好関係を更に強化し、経済や人材の交流を益々盛んにしていくことを確認した。

フエ副首相との面談の様子



面談参加者との記念撮影





## 5 ロン司法大臣との面談（担当課：国際課）

### （1）日時

9月12日（木）午後5時30分から午後6時まで

（日本時間9月12日（木）午後7時30分から午後8時まで）

### （2）場所

司法省（ハノイ）

### （3）面談者

レ・ティン・ロン司法大臣

### （4）愛知県側出席者

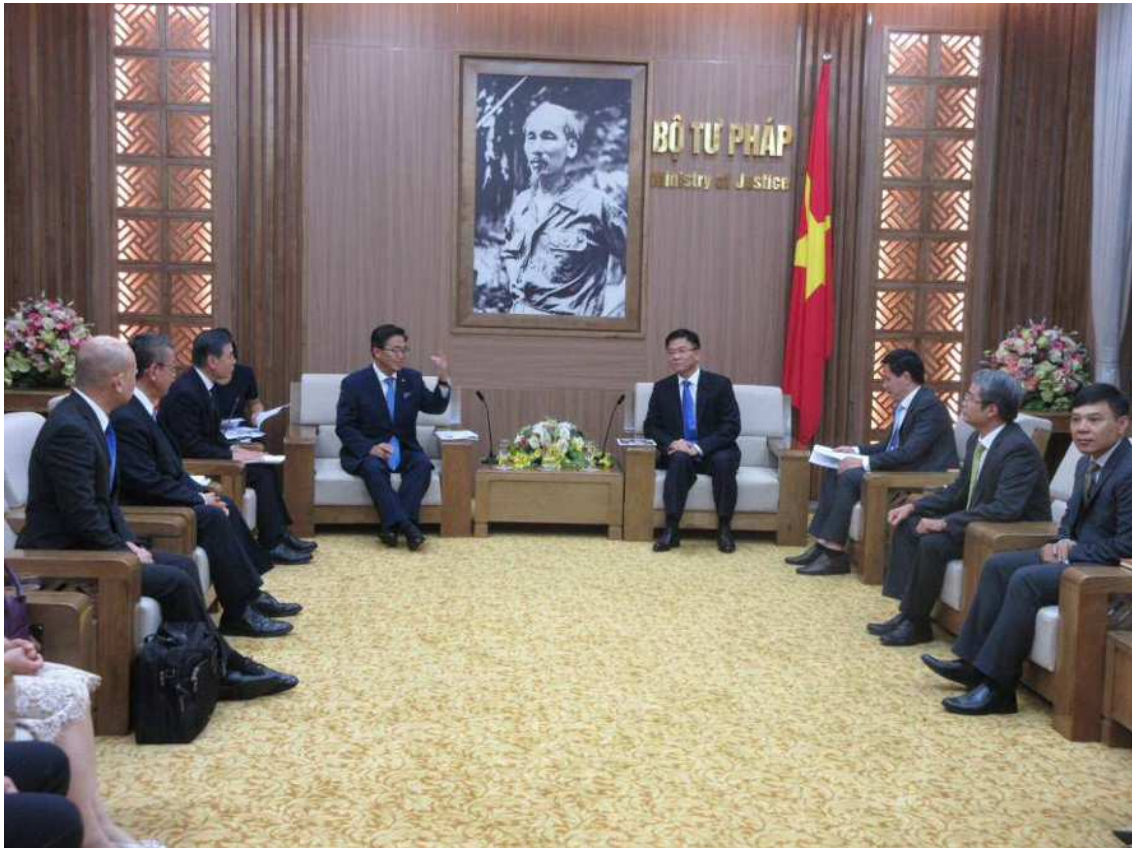
大村知事、名古屋商工会議所 内田常務理事、（一社）中部経済連合会 栗原常務理事、中部国際空港㈱ 犬塚社長、広瀬ホーチミン観光大使

### （5）内容

知事は、司法省を訪問し、ロン司法大臣と面談した。知事は、「今年の4月に愛知でお会いして以来、再びロン司法大臣にお会いできたことを嬉しく思う。今日は、フエ副首相、チュン計画投資副大臣とお会いしたほか、ベトジェットエア、ベトナム航空を訪問し、中部国際空港とベトナム主要都市との路線拡充について大変前向きな返事をいただくことができた。ベトナムとは経済面での連携を更に深めていきたい。愛知県企業がベトナムに進出しやすいよう法律面のサポートをお願いする。また、愛知に留学していた帰国留学生のネットワーク（通称：パロネット）も両地域の架け橋となっている。愛知に留学され、日本・愛知をよく知るロン司法大臣にもこれからも架け橋となっていただきたい。」と述べた。

これに対しロン司法大臣からは、「ここベトナムで大村知事にお会いできたことを光栄に思う。名古屋大学に留学していたこともあり、愛知県への個人的な思い入れが強い。愛知県が日本の経済の要であることをよく知っている。愛知県企業のベトナム進出を支援していきたい。また、中部国際空港とベトナム主要都市との路線拡充を強く支援する。愛知とベトナムとの交流が盛んになり、更なるベトナムと愛知の架け橋となる人材が増えていくことを期待している。そのために司法大臣としても個人としても尽力していきたい。」の発言があった。

ロン司法大臣との面談の様子



面談出席者の記念撮影



## 6 日本国・愛知県とベトナム社会主義共和国との経済交流会（担当課：産業立地通商課）

### (1) 日時

9月12日（木）午後6時30分から午後8時まで

（日本時間9月12日（木）日本時間午後8時30分から午後10時まで）

### (2) 場所

ホテル「デュパルクハノイ」（ハノイ）

### (3) 出席者 100名

- ・ベトナム計画投資省、ベトナム外務省、ベトナム企業
- ・在ベトナム日本国大使館、ジェトロ、JICA等公的機関、愛知県からの進出企業
- ・愛知県訪問団

大村知事、植村政策顧問、名古屋商工会議所 内田常務理事、  
（一社）中部経済連合会 栗原常務理事、中部国際空港(株) 犬塚社長、  
広瀬ホーチミン観光大使ほか

### (4) 内容

愛知県を始め日越両国政府、現地企業・団体、県内進出企業・愛知県訪問団が一堂に会し、両地域の友好関係を深め、経済交流の拡大につなげる機会とした。

知事は冒頭挨拶の中で、同日12日にベトナムジェットエアとベトナム航空へ訪問し、ハノイ、ホーチミンと中部路線の拡大を要請し、積極的な回答があった旨を報告し、フエ副首相を始め、チュン計画投資副大臣及びロン司法大臣と面談し、経済面や人的交流の面で意見交換したことを説明した。

一方で、ベトナム計画投資省外国投資庁ホアン長官による来賓挨拶では、ベトナムはAIやIoTなどの第4次産業革命の波に乗るため、ハイテク分野の企業誘致を進めており、愛知県の強みである航空宇宙産業や工作機械産業分野など付加価値の高い企業のベトナムへの投資が増えることを期待している、とのコメントがあった。

続いて、挨拶したクオン・ベトナム外務省次官は、愛知県の経済力の強みとして知事の指導力とベトナムに多数進出している県内企業の貢献に言及した。

会場内では、三州足助太鼓の演奏や観光、地場産品、なごやめしを紹介するコーナーを設けるなど、愛知県の魅力をPRした。



日本国・愛知県とベトナム社会主義共和国との経済交流会の風景





三州足助太鼓の演奏の様子



三州足助太鼓と来賓の方たち

